

2027 年度 募集要項 公募制推薦入試 短大公募制推薦入試



愛知大学
AICHI UNIVERSITY

【 目 次 】

入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)..... P.1	受験票の印刷..... P.18
Ⅰ. 公募制推薦入試(一般推薦方式) ・	合格発表..... P.18
短大公募制推薦入試(短大一般推薦方式) ... P.3	出願に関する Q & A P.19
Ⅱ. 公募制推薦入試(情報・簿記会計推薦方式) ... P.10	注意事項..... P.20
	奨学金制度..... P.21
	学納金等..... P.22
共通事項	巻末綴じ込み書類
出願準備..... P.14	■推薦書(別紙①)
マイページ登録..... P.15	■愛知大学志望理由書(別紙②)
個人情報・証明写真・出願登録..... P.15	■愛知大学短期大学部志望理由書(別紙③)
入学検定料の支払い..... P.16	■資格検定試験証明書等貼付用紙(別紙④)
出願書類の郵送..... P.17	

出願期間内に「出願登録」「入学検定料の支払い」「出願書類の郵送」の3つの手続きをすべて行うことで、出願完了となります。WEB 上での「出願登録」だけでは、出願完了となりませんので、ご注意ください。
事前に募集要項をよく読み、必要なものをご準備ください。

※募集要項は冊子での配付をしておりますので、各自で出願書類を印刷してください。

入学者受入方針(アドミSSION・ポリシー)

愛知大学では、「世界文化と平和への貢献」「国際的教養と視野をもった人材の育成」「地域社会への貢献」を建学の精神とし、「高い教養と専門的職能教育を施し、広く国際的視野をもって人類社会の発展に貢献しうる人材」の育成を全学の教育目標として掲げ、各学部・学科ごとに教育目標(教育研究上の目的)及び学位授与方針を定めています。本学では、これを達成するために、定められた教育課程に従い学修する資質、能力及び知識を備えた以下のような学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 建学の精神に即した人材として成長が期待できる学生。
- (2) 優れた能力や豊かな経験に基づく各学部専門教育への強い興味や関心、勉学意欲を持つ学生。

2. 入学前までに修得すべき能力

【知識・技能】	(1) 高等学校において学ぶ各教科の基本的な内容について、幅広く理解していること。 (2) 自身が入学する学部・学科で学ぶ学問に関する書籍等に触れ、基礎的な知識を得ておくこと。
【思考力・判断力・表現力】	(1) 地域や社会で起こっている事柄に幅広く関心を持ち、その原因や解決方法などを自分なりに考える習慣を持つこと。 (2) 自身の考えや意見を他者に分かりやすく伝えることができるような、表現力を養うこと。
【主体性・多様性・協働性】	(1) 取り組むべき課題や解決が必要な諸問題に対して、他者とも協働し、主体的に取り組むことができること。 (2) 自分と異なる意見や考え方について肯定的に捉え、多様な人々と積極的にコミュニケーションが取れること。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜 基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上課することを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜 出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜 調査票(全体の学習成績の状況)、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

法学部 法学科

法学部では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 法や政治、さらに経済など、社会科学の扱うさまざまな事象への関心を持ち、社会正義や人権についての感覚を大切にしている人。
- (2) 法や政治、社会的な諸問題を構造的に理解した上で、その考えを応用してさまざまな問題に対処し、社会に貢献したいという強い意欲を有する人。
- (3) 国際的な観点からわが国の法及び政治の特徴や問題を分析したいという強い意欲を有する人。

2. 入学前までに修得すべき能力

【知識・技能】	(1) 高等学校の各教科、とりわけ国語、地理歴史・公民、数学についての基本的学力。 (2) 外国語の基礎的な能力。
【思考力・判断力・表現力】	(1) 論理的思考力。 (2) 自分の考えを相手に的確に伝えることができる能力。
【主体性・多様性・協働性】	(1) 社会の動きや状況について関心を持ち続けることができること。 (2) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を有していること。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜 / 基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、複数の教科を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜 / 出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜 / 調査票(全体の学習成績の状況)、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

経営学部 経営学科

経営学部経営学科では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 企業、商品、市場の動向などダイナミックに変化している経済社会に強い関心をもった学生。
- (2) ビジネスや行政などの様々な領域で活躍し、社会に貢献することを考えている学生。
- (3) 国家資格等を取得して、特定の専門職のプロフェッショナルを目指そうとする学生。

2. 入学前までに修得すべき能力

【知識・技能】	(1) 高等学校段階の国語、外国語、地理歴史・公民、数学等についての十分な、あるいは本学科での学習に円滑に移行することができる程度の基礎学力。
【思考力・判断力・表現力】	(1) 高等学校段階程度の論理的思考力・判断力・表現力。
【主体性・多様性・協働性】	(1) 様々な課題に積極的に取り組んできた能力。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜 / 基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために3教科以上課することを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜 / 出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜 / 調査票(全体の学習成績の状況)、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

現代中国学部 現代中国学科

現代中国学部では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 中国に対して強い関心を持っている人。
- (2) 現地主義教育を通じて自ら成長したい人。
- (3) アジアを中心とした国際社会で活躍したい人。
- (4) グローバルな視野で社会貢献したい人。
- (5) 異文化体験を通して、自らが所属する文化・社会を理解したい人。

2. 入学前までに修得すべき能力

【知識・技能】	(1) バランスの良い基礎学力。
【思考力・判断力・表現力】	(1) 物事を論理的に考え自分の考えを相手に説明できる能力。
【主体性・多様性・協働性】	(1) 年齢、性別、国籍などの違いを越えて一緒に活動したり、話し合ったりできる力。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜 / 基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上課することを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜 / 現代中国学部グローバル人材特別入試を実施し、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜 / 調査票(全体の学習成績の状況)、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

経済学部 経済学科

経済学部では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 主体的に学習する意欲を持っている人。
- (2) 経済・社会に関心を持っている人。解決を必要とする問題を発見し自ら解決できる経済学の専門知識と教養を修得する意欲と実行力を持っている人。
- (3) 地域社会、国内外の社会で活躍、貢献したいと思っている人。
- (4) 他者への思いやりや公正さを重んじ、異なる考え方を尊重する、自立した社会人になりたいと思っている人。
- (5) 柔軟な思考力、創造力を備えるとともに、コミュニケーション能力や表現能力を高めたいと思っている人。

2. 入学前までに修得すべき能力

【知識・技能】	(1) 基礎学力(高等学校の各教科、とりわけ、国語、数学、外国語、地理歴史・公民、理科の基礎学力)を有すること。
【思考力・判断力・表現力】	(1) 基礎的な論理的思考力、的確な主張、文章の表現力を有すること。
【主体性・多様性・協働性】	(1) 基礎的な会話・コミュニケーション能力を有すること。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜 / 基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上課することを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜 / 出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜 / 調査票(全体の学習成績の状況)、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

経営学部 会計ファイナンス学科

経営学部会計ファイナンス学科では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 企業活動、金融市場の動向などダイナミックに変化している経済社会に強い関心をもった学生。
- (2) 一般企業、行政及び教育などの様々な領域で活躍し、社会に貢献することを考えている学生。
- (3) 公認会計士、税理士及び国税専門官などの会計専門職を目指そうとする学生。

2. 入学前までに修得すべき能力

【知識・技能】	(1) 高等学校段階の国語、外国語、地理歴史・公民、数学等についての十分な、あるいは本学科での学習に円滑に移行することができる程度の基礎学力。
【思考力・判断力・表現力】	(1) 高等学校段階程度の論理的思考力・判断力・表現力。
【主体性・多様性・協働性】	(1) 様々な課題に積極的に取り組んできた能力。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜 / 基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上課することを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜 / 出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜 / 調査票(全体の学習成績の状況)、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

国際コミュニケーション学部 英語学科

国際コミュニケーション学部英語学科では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 英語をはじめとする外国語を習得したい人。
- (2) 異文化理解に関心を持ち、異文化体験を通して視野を広げたい人。
- (3) 国際的な場での社会貢献をしたい人。
- (4) 企業の海外事業や国際流通部門、航空・旅行会社など、海外の人と関わる職業で活躍したい人。
- (5) 英語教師となり地域社会や教育の分野で自らの学びを還元したい人。

2. 入学前までに修得すべき能力

【知識・技能】	(1) 英語学科での教育を受けるのに必要とされる高校卒業程度教育課程を修得している。
【思考力・判断力・表現力】	(1) 物事を論理的に考え、自分の意見をわかりやすく説明しようと努力できる。
【主体性・多様性・協働性】	(1) 主体的に学ぶ姿勢を身につける意欲がある。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜 / 基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、複数科目を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜 / 出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接、学科試験等により総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜 / 調査票(全体の学習成績の状況)、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

国際コミュニケーション学部 国際教養学科

国際コミュニケーション学部国際教養学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
- (1) 国際交流に意欲を持っている人。
 - (2) 異文化理解に必要な知識や技能を積極的に吸収しようとする人。
 - (3) 異なる社会・文化背景をもつ人々と積極的にコミュニケーションを取ろうとする人。
2. 入学前までに修得すべき能力
- [知識・技能]
- (1) 国際教養学科での教育を受けるのに必要とされる高等学校の教育課程を修得している人。
 - (2) アメリカ・アジア（日本を含む）・ヨーロッパをめぐる歴史、政治、経済、社会、文化、国際関係への関心をもち、必要な知識や技能を積極的に吸収しようとする人。

- [思考力・判断力・表現力]
- (1) 現在の国際社会の様々な問題を多面的かつ論理的に考え、自分の意見をわかりやすく説明しようとする人。
 - (2) 異文化理解を深めた上で、日本語・日本文化を海外に積極的に紹介したいと考えている人。
- [主体性・多様性・協働性]
- (1) 多様な文化背景をもつ人々と協働して主体的に学ぶ姿勢を身につける意欲をもった人。
 - (2) 異文化を理解して国際社会や世界の中の地域社会において積極的に貢献したいと考えている人。
3. 選抜方法
- (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、複数科目を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
 - (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
 - (3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

文学部 人文社会学科

文学部人文社会学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
- (1) 〔一般選抜〕高等学校の各教科、とりわけ国語、外国語、地理歴史、公民、数学について基本的学力を有しており、応用、発展的内容の学習へ進む準備ができている人。
〔学校推薦型選抜〕高等学校段階の各教科の基本的内容について学習、理解しており、大学における教育・学習に支障なく移行、適応できる学力を有している人。
 - (2) 人間の様々な営みと活動について多様な興味や関心を抱いており、個、集団、地域などの観点から、過去あるいは現在について観察、考察し、さらに未来を展望することに魅力を感じている人、また、そのための新たな、より高度な知識や分析手法を習得したいという意欲のある人。
 - (3) 大学において学習、習得した人文学の専門的知識、視座、研究方法と、広義のリテラシー能力、コミュニケーション能力を、将来自己の人生、職業、社会貢献などに活かしていきたいという意思を有する人。
2. 入学前までに修得すべき能力
- [知識・技能]
- (1) 人文・社会系の学問に関心があり、基礎的な知識とそれを運用する能力を有している。
- [思考力・判断力・表現力]
- (1) ものごとを自ら論理的に考えるための基礎的能力を有している。
 - (2) 自分の意見などを発表する基礎的能力を有している。
- [主体性・多様性・協働性]
- (1) 他者の意見などを聞き対話する基礎的能力を有している。
3. 選抜方法
- (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上課すことを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
 - (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
 - (3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

文学部 日本語日本文学科

文学部日本語日本文学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
- (1) 〔一般選抜〕高等学校の各教科、とりわけ国語、外国語、公民、数学、地理歴史について基本的学力を有しており、応用、発展的内容の学習へ進む準備ができている人。
〔学校推薦型選抜〕高等学校段階の各教科の基本的内容について学習、理解しており、大学における教育・学習に支障なく移行、適応できる学力を有している人。
 - (2) 「日本語」「日本文学」「日本語表現」について興味や関心を抱いており、過去から現在、未来へと至る日本文化について思考・構想することに魅力を感じている人。また、それを思考・構想するための高度な知識や分析方法を習得したいという意欲のある人。
 - (3) 大学において学習、習得した日本語・日本文学・日本語表現学に関する専門的知識や研究方法、広義のリテラシー能力を、将来的な自己の人生、職業、社会貢献などに活かしていきたいとする意思を有する人。
2. 入学前までに修得すべき能力
- [知識・技能]
- (1) 日本語学や日本文学に関心があり、基礎的な知識とそれを運用する能力を有している。
- [思考力・判断力・表現力]
- (1) ものごとを自ら論理的に考えるための基礎的能力を有している。
 - (2) 自分の意見などを発表する基礎的能力を有している。
- [主体性・多様性・協働性]
- (1) 他者の意見などを聞き対話する基礎的能力を有している。
3. 選抜方法
- (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上課すことを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
 - (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
 - (3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

地域政策学部 地域政策学科

地域政策学部では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
- (1) 故郷や住んでいる地域、自然環境を愛し、その変化に関心を持っている人。
 - (2) 地域の問題や地方の課題を解決したいと思っている人。
 - (3) 新しい政治や経済、行政のあり方を追求したい人。
 - (4) 安全・安心で個性的なまちづくり・社会づくりに情熱を持っている人。
 - (5) 知識の習得にとどまらず、豊かな人間性を育みたいと思っている人。
 - (6) 世界の人々と交流し異文化体験を糧として成長したいと願っている人。
2. 入学前までに修得すべき能力
- [知識・技能]
- (1) 地域政策学を学習するために必要な基本的な知識、読解力。
 - (2) ワードプロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトなどの基本ソフトを操作する能力。
- [思考力・判断力・表現力]
- (1) 基本的な知識・技能を踏まえた論理的思考力・判断力。
 - (2) 地域の問題や政策課題について情報を収集し、分析し、表現する能力。
- [主体性・多様性・協働性]
- (1) 目的意識・意欲をもち、継続的にものごとに取り組む能力。
 - (2) 多様な考えを理解し、グループとしての意見を形成する能力。
3. 選抜方法
- (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、所定の教科・科目を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
 - (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接、プレゼンテーション等の組み合わせにより総合判定して合格者を決定する。
 - (3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

社会情報学部 社会情報学科

社会情報学部社会情報学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
- (1) 知識を獲得することに喜びを感じることでできる学生。
 - (2) 獲得した知識を基に物事を論理的に考えることでできる学生。
 - (3) 客観的なデータ・論拠を基に的確な判断を下せる学生。
 - (4) 現代社会における様々な問題に関心を持ち、問題解決に向けて主体的に取り組む意欲のある学生。
2. 入学前までに修得すべき能力
- [知識・技能]
- (1) 高等学校段階の国語、外国語、地理歴史、公民、数学、理科、情報等についての十分な、あるいは本学部での学習を円滑に進めることができる程度の基礎学力。
- [思考力・判断力・表現力]
- (1) 物事を論理的に考える姿勢。
 - (2) 客観的な論拠に基づいて判断する姿勢。
 - (3) 説得力のある表現を試みようとする姿勢。
- [主体性・多様性・協働性]
- (1) 興味・関心のあることに主体的・積極的に取り組む力。
 - (2) 他者との間で円滑にコミュニケーションがとれる力。

3. 選抜方法
- (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上を課すことを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
 - (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
 - (3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

文学部 歴史地理学科

文学部歴史地理学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
- (1) 〔一般選抜〕高等学校の各教科、とりわけ国語、外国語、地理歴史、公民、数学について基本的学力を有しており、応用、発展的内容の学習へ進む準備ができている人。
〔学校推薦型選抜〕高等学校段階の各教科の基本的内容について学習、理解しており、大学における教育・学習に支障なく移行、適応できる学力を有している人。
 - (2) 人間や社会の歴史的展開や、人々が生活する地理的環境などについて興味や関心を抱いており、個、集団、地域などの観点から、あるいは過去、あるいは現在について観察、考察し、さらに未来を展望することに魅力を感じている人。また、そのための新たな、より高度な知識や分析手法を習得したいという意欲のある人。
 - (3) 大学において学習、習得した歴史学・地理学の専門的知識、視座、研究方法と、広義のリテラシー能力、コミュニケーション能力を、将来自己の人生、職業、社会貢献などに活かしていきたいという意思を有する人。
2. 入学前までに修得すべき能力
- [知識・技能]
- (1) 歴史学や地理学に関心があり、基礎的な知識とそれを運用する能力を有している。
- [思考力・判断力・表現力]
- (1) ものごとを自ら論理的に考えるための基礎的能力を有している。
 - (2) 自分の意見などを発表する基礎的能力を有している。
- [主体性・多様性・協働性]
- (1) 他者の意見などを聞き対話する基礎的能力を有している。
3. 選抜方法
- (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上課すことを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
 - (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
 - (3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

文学部 心理学科

文学部心理学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
- (1) 〔一般選抜〕高等学校の各教科、とりわけ国語、外国語、公民、数学、生物、地理歴史について基本的学力を有しており、応用、発展的内容の学習へ進む準備ができている人。
〔学校推薦型選抜〕高等学校段階の各教科の基本的内容について学習、理解しており、大学における教育・学習に支障なく移行、適応できる学力を有している人。
 - (2) 人間の様々な営みと活動について多様な興味や関心を抱いており、個、集団、地域などの観点から、あるいは過去、あるいは現在について観察、考察し、さらに未来を展望することに魅力を感じている人。また、そのための新たな、より高度な知識や分析手法を習得したいという意欲のある人。
 - (3) 大学において学習、習得した心理学の専門的知識、視座、研究方法と、広義のリテラシー能力、コミュニケーション能力を、将来自己の人生、職業、社会貢献などに活かしていきたいという意思を有する人。
2. 入学前までに修得すべき能力
- [知識・技能]
- (1) 心理学を学ぶために必要な基礎的な知識とそれを運用する能力を有している。
- [思考力・判断力・表現力]
- (1) ものごとを自ら論理的に考えるための基礎的能力を有している。
 - (2) 自分の意見などを発表する基礎的能力を有している。
- [主体性・多様性・協働性]
- (1) 他者の意見などを聞き対話する基礎的能力を有している。
3. 選抜方法
- (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上課すことを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
 - (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
 - (3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

短期大学部 ライフデザイン総合学科

短期大学部ライフデザイン総合学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
- (1) 豊かな教養を求め、自国のことばや文化に関心の高い人。
 - (2) 英語をはじめとする外国語の習得に強い意欲をもち、異文化理解に興味のある人。
 - (3) 社会人・職業人になることを意識的に考え、それに向かって努力できる人。
 - (4) 人と人、人と社会の関係などに問題意識をもち、自ら成長したいと思っている人。
 - (5) 高校時代までにサークル活動、ボランティア活動等に熱中したことがあり、その経験を語る人。
2. 入学前までに修得すべき能力
- [知識・技能]
- (1) さまざまな科目を広く学んだ基礎学力。
 - (2) 日本語による会話・コミュニケーション能力。
- [思考力・判断力・表現力]
- (1) 論理的思考力、的確な主張、文章の表現力。
- [主体性・多様性・協働性]
- (1) 豊かな経験に基づく学習意欲。
3. 選抜方法
- (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、国語・英語を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
 - (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、面接等により総合判定して合格者を決定する。
 - (3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

I. 公募制推薦入試(一般推薦方式)・短大公募制推薦入試(短大一般推薦方式)

1. 趣 旨

学力・人物ともに優れ、本学に学ぶことを強く志望し、将来国際社会、地域社会へ貢献することをめざす生徒を公募制推薦入試により受け入れる。

2. 募集定員

学部	学科・コース	募集定員	
		専願制	併願制
法学部	法学科	25名	25名
経済学部	経済学科	25名	20名
経営学部	経営学科	22名	18名
	会計ファイナンス学科	9名	10名
現代中国学部	現代中国学科	10名	10名
国際コミュニケーション学部	英語学科	10名	10名
	国際教養学科	15名	10名
社会情報学部*	社会情報学科*	25名	15名
文学部 ^(※) 学部全体入試		12名	21名
地域政策学部	地域政策学科	公共政策コース	5名
		経済産業コース	7名
		まちづくり・文化コース	4名
		健康・スポーツコース	4名
		食農環境コース	5名
短期大学部(女子のみ募集)	ライフデザイン総合学科	5名	5名

*2027年4月開設予定。

社会情報学部では、「教育のICT化」を推進しており、講義・演習・ゼミなどでパソコンを利用するため、学生個人所有の「ノートパソコンの必携化(BYOD: Bring Your Own Device)」を実施します。入学時には、入学関係書類を通じてご案内を確認の上、ノートパソコンをご準備ください。詳細については、愛知大学入学手続ページに記載いたします。また、自宅等でインターネットを利用できる環境もご準備ください。

- (※) 文学部は学部全体入試を実施します。学部全体入試による入学者は、本人の希望と1年次の成績により、2年次進級時に所属する学科・コース・専攻が決まります。1年次の所属は人文社会学科となります。人文社会学科、歴史地理学科、日本語日本文学科、心理学科を合算した募集定員となります。

※学部・学科等の詳細は、「大学案内2027」等をご確認ください。

3. 出願資格

専願制

全学部・短期大学部

【全学部】次の(1)～(4)全項目に該当する者。

【短期大学部】次の(1)～(3)全項目に該当する者。

(1)	(学部)	日本（海外の在外教育施設を含む）の高等学校（特別支援学校の高等部も含む）または中等教育学校を2026年4月以降に卒業した者および2027年3月卒業見込みの者。
	(短期大学部)	日本（海外の在外教育施設を含む）の高等学校（特別支援学校の高等部も含む）または中等教育学校を2026年4月以降に卒業した者および2027年3月卒業見込みの者（女子）。
(2)	本学専願者（本学を第1志望とし、合格者は必ず入学すること）。	
(3)	日本（海外の在外教育施設を含む）の高等学校（特別支援学校の高等部も含む）または中等教育学校長が推薦する者。	
(4)	高等学校（特別支援学校の高等部も含む）または中等教育学校の全体の学習成績の状況が3.5以上の者。	

併願制

全学部・短期大学部

【全学部】次の(1)～(3)全項目に該当する者。

【短期大学部】次の(1)～(2)全項目に該当する者。

(1)	(学部)	日本（海外の在外教育施設を含む）の高等学校（特別支援学校の高等部も含む）または中等教育学校を2026年4月以降に卒業した者および2027年3月卒業見込みの者。
	(短期大学部)	日本（海外の在外教育施設を含む）の高等学校（特別支援学校の高等部も含む）または中等教育学校を2026年4月以降に卒業した者および2027年3月卒業見込みの者（女子）。
(2)	日本（海外の在外教育施設を含む）の高等学校（特別支援学校の高等部も含む）または中等教育学校長が推薦する者。	
(3)	高等学校（特別支援学校の高等部も含む）または中等教育学校の全体の学習成績の状況が3.0以上の者。	

※併願制は試験日が異なれば、学内外の併願が可能で、**短期大学部（女子のみ募集）は本学他学部との同日出願が可能。**

4. 英語能力試験スコア等の活用

*一般推薦方式 併願制(短期大学部を含む)において、出願時点で以下のいずれかの英語能力試験スコア等を保持している場合、外国語(英語)の得点に10点(上限)を加点し、合否判定を行います。

英語能力試験 ^(注1)	スコア
実用英語技能検定 ^(注2)	総合2304以上かつ各技能460以上
ケンブリッジ大学英語検定試験	160以上
国際連合公用語英語検定試験	A級以上
TOEFL-iBT ^(注3)	72以上
TOEIC®L&R	785以上
TOEIC®L&R+S&W	1095以上
GTEC	1180以上
TEAP ^(注4)	309以上
IELTS™	5.5以上

※本学独自試験「外国語(英語)」において、一般推薦方式 併願制(短期大学部を含む)における加点後の上限を100点(国際コミュニケーション学部は上限を200点)として取り扱います。短期大学部において、本学独自試験を国語とした場合、加点対象となりません。

※2024年4月以降に取得したスコア等を対象として活用する(ただし、出願時において有効期限内のもの、オフィシャルスコアに限る)。

(注1) TOEIC®-IPおよびGTECアセスメント版、TOEFL-iBT®Home Editionは対象外。

(注2) 実用英語技能検定は2級以上を対象とし、基準スコアの条件をすべて満たすことが必要(英検S-CBTも可)。

(注3) 2026年1月21日以降のTOEFL-iBT®受験者は参考値として記載されているスコアにて評価。

(注4) TEAPは4技能(Listening, Speaking, Reading, Writing)で受験することが必要。

5. 出 願 書 類

書類 番号	書類	別紙 番号	内容	一般推薦方式 (専願制)		一般推薦方式 (併願制) ^(※)	
				全学部	短期大学部	全学部	短期大学部
(1)	出願確認票		出願登録および入学検定料 支払い完了後に印刷	●	●	●	●
(2)	調査書		厳封	●	●	●	●
(3)	推薦書	別紙 ①	厳封	●	●	●	●
(4)	志望理由書	別紙 ②	自筆 (800 字以内)	●	×	×	×
(5)	短期大学部 志望理由書	別紙 ③	自筆 (400 字以内)	×	●	×	×
(6)	資格検定試験証明書等 貼付用紙	別紙 ④	資格の合格証書等 (写し) を貼付	×	×	★	★

●：提出必須

★：該当の英語能力試験スコアを保持している方のみ提出。詳細はP. 4 「4. 英語能力試験スコア等の活用」をご確認ください。

×：提出不要

(※) WEBでの出願登録の際、事前課題として「大学入学後に取り組みたいこと (200 文字以上、500 文字以内) の入力が必要となります。出願までに内容をご準備の上、作成した内容を入力してください。

※提出書類を番号順 (1) ～ (6) に揃え、クリップでとめてください (ホチキス等使用不可)。

書類番号 (2)、(3) について、まとめて封入の上厳封しても構いません。

※提出書類の郵送方法についてはP. 17のSTEP6をご確認ください。

※提出された出願書類に不備があった場合、本学または出願受付センターから連絡します。

出願期間内に「出願登録」「入学検定料の支払い」「出願書類の郵送」の3つの手続きをすべて行うことで、出願完了となります。WEB上での「出願登録」だけでは出願完了となりませんので、ご注意ください。

出願登録後、入学検定料をお支払いいただき、出願書類を郵送してください。

出願登録期間	2026年11月1日 (日) 10時00分～11月5日 (木) 15時00分
入学検定料のお支払い期間	2026年11月1日 (日) ～11月5日 (木) 17時00分
出願書類の郵送期限	2026年11月5日 (木) 消印有効

6. 試験日・試験場

試験日	2026年 11月 15日 (日)	
試験場	法学部、経済学部、経営学部、現代中国学部、 国際コミュニケーション学部、社会情報学部*	名古屋校舎
	文学部、地域政策学部、短期大学部 ^(※)	豊橋校舎

*2027年4月開設予定

(※)短期大学部に出願し、名古屋校舎を試験場とする学部を併願する場合は、**名古屋校舎での受験**となります。

7. 選考方法

専願制

【法学部、経済学部、経営学部、社会情報学部*】

調査書（全体の学習成績の状況）、外国語学科試験、グループ面接により総合判定して合格者を決定します。

集合時間	9時40分	
選考方法	試験時間	配点
調査書 (全体の学習成績の状況)		50点 ^(注)
外国語学科試験	10時00分～11時00分(60分)	100点
グループ面接	12時15分～(15分程度)	可または不可

*2027年4月開設予定

【現代中国学部、地域政策学部】

調査書（全体の学習成績の状況）、外国語学科試験、個人面接により総合判定して合格者を決定します。

集合時間	9時40分	
選考方法	試験時間	配点
調査書 (全体の学習成績の状況)		50点 ^(注)
外国語学科試験	10時00分～11時00分(60分)	100点
個人面接	12時15分～(1人10分程度)	50点

【国際コミュニケーション学部】

調査書(全体の学習成績の状況)、外国語学科試験、国語学科試験、個人面接により総合判定して合格者を決定します。

集合時間	9時40分	
選考方法	試験時間	配点
調査書 (全体の学習成績の状況)		50点 ^(注)
外国語学科試験	10時00分～11時00分(60分)	100点
国語学科試験	12時15分～13時15分(60分)	50点
個人面接 ^(※)	14時00分～(1人10分程度)	50点

(※) 個人面接について

英語学科：1. 英語による面接試験。

2. 提出書類の内容に関する日本語による口頭試験。

国際教養学科：志望理由書の内容に関する日本語による口頭試験。

(注) 全体の学習成績の状況を10倍した数値を得点とします(50点満点)。

【文学部】

調査書(全体の学習成績の状況)、外国語学科試験、国語学科試験、個人面接により総合判定して合格者を決定します。

集合時間	9時40分
------	-------

選考方法	試験時間	配点
調査書 (全体の学習成績の状況)		50点 ^(注)
外国語学科試験	10時00分～11時00分(60分)	100点
国語学科試験	12時15分～13時15分(60分)	100点
個人面接	14時00分～(1人10分程度)	50点

【短期大学部】

調査書(全体の学習成績の状況)、学科試験(外国語または国語を出願時に選択)、個人面接により総合判定して合格者を決定します。

選考方法	試験時間		配点
調査書 (全体の学習成績の状況)			50点 ^(注)
外国語選択者	集合時間	9時40分	
	学科試験	10時00分～11時00分(60分)	100点
	個人面接	12時15分～(1人10分程度)	50点
国語選択者	集合時間	9時40分	
	個人面接	10時00分～(1人10分程度)	50点
	学科試験	12時15分～13時15分(60分)	100点

(注)全体の学習成績の状況を10倍した数値を得点とします(50点満点)。

併願制

【法学部、経済学部、経営学部、現代中国学部、国際コミュニケーション学部、文学部、地域政策学部】
調査書(全体の学習成績の状況)、事前課題、外国語学科試験、国語学科試験により総合判定して合格者を決定します。

集合時間	9時40分	
選考方法	試験時間	配点
調査書 (全体の学習成績の状況)		20点 ^(注)
事前課題		10点 ^(※1)
外国語学科試験	10時00分～11時00分(60分)	100点 ^{(※2)(※3)}
国語学科試験	12時15分～13時15分(60分)	100点

(※1) WEBでの出願登録の際、事前課題として「大学入学後に取り組みたいこと(200文字以上、500文字以内)の入力が必須となります。出願までに内容をご準備の上、作成した内容を入力してください。

(※2) 国際コミュニケーション学部は200点。

(※3) 出願時点で所定の英語能力試験スコア等を保持している場合、外国語(英語)の得点に10点(上限)を加点し、合否判定を行います。詳細はP.4「4. 英語能力試験スコア等の活用」をご確認ください。

【社会情報学部*】

調査書(全体の学習成績の状況)、事前課題、学科試験(外国語必須、国語または数学を出願時に選択)により総合判定して合格者を決定します。

集合時間	9時40分	
選考方法	試験時間	配点
調査書 (全体の学習成績の状況)		20点 ^(注)
事前課題		10点 ^(※1)
外国語学科試験	10時00分～11時00分(60分)	100点 ^(※2)
国語選択者	12時15分～13時15分(60分)	100点
数学選択者	12時15分～13時15分(60分)	100点

(※1) WEBでの出願登録の際、事前課題として「大学入学後に取り組みたいこと(200文字以上、500文字以内)の入力が必須となります。出願までに内容をご準備の上、作成した内容を入力してください。

(※2) 出願時点で所定の英語能力試験スコア等を保持している場合、外国語(英語)の得点に10点(上限)を加点し、合否判定を行います。詳細はP.4「4. 英語能力試験スコア等の活用」をご確認ください。

*2027年4月開設予定

【短期大学部】

調査書(全体の学習成績の状況)、事前課題、学科試験(外国語または国語を出願時に選択)により総合判定して合格者を決定します。

選考方法	試験時間		配点
調査書 (全体の学習成績の状況)			20点 ^(注)
事前課題			10点 ^(※1)
外国語選択者	集合時間	9時40分	100点 ^(※2)
	学科試験	10時00分～11時00分(60分)	
国語選択者	集合時間	11時55分	100点
	学科試験	12時15分～13時15分(60分)	

(※1) WEBでの出願登録の際、事前課題として「大学入学後に取り組みたいこと(200文字以上、500文字以内)の入力が必須となります。出願までに内容をご準備の上、作成した内容を入力してください。

(※2) 外国語選択者で、出願時点において所定の英語能力試験スコア等を保持している場合、外国語(英語)の得点に10点(上限)を加点し、合否判定を行います。詳細はP.4「4. 英語能力試験スコア等の活用」をご確認ください。

★社会情報学部と併願し「数学」を選択した場合、短期大学部の学科試験は「外国語」となります。

(注) 全体の学習成績の状況を、4倍にした数値を得点とします。

8. 学科試験出題範囲

学科試験は、外国語、国語、数学ともに全問マークシート方式です。

教科	科目
外国語	「英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ」（リスニングを除く）
国語	「現代の国語，言語文化，論理国語」（現代文のみ）
数学	「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A（図形の性質，場合の数と確率）」

9. 合格発表

発表日	2026年12月1日（火）10時00分～
-----	----------------------

※発表方法の詳細についてはP. 18をご確認ください。

10. 入学手続

合格者の入学手続は、第一次入学手続と第二次入学手続に分かれています。それぞれの期限内に所定の手続きをしてください。なお、入学手続の詳細は、合格発表日以降、「マイページ」の「入学手続」ページにて「入学案内」を取得しご確認ください。

区分	期限	内容
第一次入学手続	2026年12月7日（月）《最終日収納印有効》	入学金納入
第二次入学手続	2026年12月22日（火）《最終日収納印有効》	入学金を除く授業料等納入
	2026年12月22日（火）15時00分	学籍関連情報・写真登録
	2027年3月5日（金）《消印有効》	入学手続書類提出 ^(※)

(※)入学手続書類として、卒業証明書（高等学校発行）等をご準備いただく必要があります。

「一般推薦方式(併願制)」「短大一般推薦方式(併願制)」については第二次入学手続の延期や入学金振替ができます。詳細は、「マイページ」にてご確認ください。

※第二次入学手続の延期について

本学や他大学を併願受験し、第一次入学手続をした場合に限り、第二次入学手続を、併願受験大学の合格発表日の翌日〔最終3月23日（火）必着〕まで延期することができます。

なお、追加合格や補欠合格は延期理由の対象外となります。

※入学金振替制度について

一般推薦方式(併願制)、短大一般推薦方式(併願制)に第一次入学手続後、一般選抜にて本学に合格した場合は入学金の振替ができます（再度、入学金を納入する必要はありません）。

※入学前教育について

専願制にて合格した場合、入学前教育にかかる費用負担が発生する可能性があります。

詳細は合格発表日以降、「マイページ」の「入学手続」ページにて「入学案内」を取得しご確認ください。

Ⅱ. 公募制推薦入試(情報・簿記会計推薦方式)

1. 趣 旨

本学経済学部及び経営学部、社会情報学部（2027年4月開設予定）に学ぶことを強く志望し、各々の分野で優れた能力を備え、学力・人物ともに優れた生徒を公募制推薦入試により受け入れる。

2. 募 集 定 員

学部	学科	募集定員	
		専願制	併願制
経済学部	経済学科	—	5名
経営学部	経営学科	—	4名
	会計ファイナンス学科	—	6名
社会情報学部*	社会情報学科*	10名	6名

*2027年4月開設予定。

社会情報学部では、「教育のICT化」を推進しており、講義・演習・ゼミなどでパソコンを利用するため、学生個人所有の「ノートパソコンの必携化（BYOD: Bring Your Own Device）」を実施します。入学時には、入学関係書類を通じてご案内を確認の上、ノートパソコンをご準備ください。詳細については、愛知大学入学手続ページに記載いたします。また、自宅等でインターネットを利用できる環境もご準備ください。

※学部・学科等の詳細は、「大学案内2027」等をご確認ください。

3. 出 願 資 格

専願制 社会情報学部*

次の(1)～(4)全項目に該当する者。

(1) 日本（海外の在外教育施設を含む）の高等学校（特別支援学校の高等部も含む）または中等教育学校を2026年4月以降に卒業した者および2027年3月卒業見込みの者。
(2) 本学専願者（本学を第1志望とし、合格者は必ず入学すること）。
(3) 日本（海外の在外教育施設を含む）の高等学校（特別支援学校の高等部も含む）または中等教育学校長が推薦する者。
(4) 次のa～eのいずれかに該当する者。
a. 応用情報技術者試験 合格者
b. 高等学校（特別支援学校の高等部も含む）または中等教育学校の全体の学習成績の状況が3.8以上で、基本情報技術者試験合格者
c. 日本商工会議所簿記検定試験 1級合格者
d. 高等学校（特別支援学校の高等部も含む）または中等教育学校の全体の学習成績の状況が4.0以上で、次の①～③いずれかに該当する者。
①日本商工会議所簿記検定試験 2級合格者
②全国商業高等学校協会主催簿記実務検定試験 1級合格者
③ITパスポート試験 合格者
e. 全国経理教育協会主催簿記能力検定試験 上級合格者

※a・b・c・eによる出願は、資格点として加点をします。応用情報技術者試験・日本商工会議所簿記検定試験1級・全国経理教育協会主催簿記能力検定試験上級合格者は30点、基本情報技術者試験合格者は15点。

*2027年4月開設予定

併願制

経済学部・経営学部・社会情報学部*

次の(1)～(3)全項目に該当する者。

(1)	日本（海外の在外教育施設を含む）の高等学校（特別支援学校の高等部も含む）または中等教育学校を2026年4月以降に卒業した者および2027年3月卒業見込みの者。
(2)	日本（海外の在外教育施設を含む）の高等学校（特別支援学校の高等部も含む）または中等教育学校長が推薦する者。
(3)	次のa～eのいずれかに該当する者。
a.	応用情報技術者試験 合格者
b.	高等学校（特別支援学校の高等部も含む）または中等教育学校の全体の学習成績の状況が3.8以上で、基本情報技術者試験合格者
c.	日本商工会議所簿記検定試験 1級合格者
d.	高等学校（特別支援学校の高等部も含む）または中等教育学校の全体の学習成績の状況が4.0以上で、次の①～③いずれかに該当する者。
	①日本商工会議所簿記検定試験 2級合格者
	②全国商業高等学校協会主催簿記実務検定試験 1級合格者
	③ITパスポート試験 合格者
e.	全国経理教育協会主催簿記能力検定試験 上級合格者

※a・b・c・eによる出願は、資格点として加点をします。応用情報技術者試験・日本商工会議所簿記検定試験1級・全国経理教育協会主催簿記能力検定試験上級合格者は30点、基本情報技術者試験合格者は15点。

※試験日が異なれば、学内外の併願が可能です。

*2027年4月開設予定

4. 出 願 書 類

書類 番号	書類	別紙 番号	内容	情報・簿記会計推薦方式 (専願制・併願制) 経済学部、経営学部 社会情報学部 (2027年4月開設予定)
(1)	出願確認票		出願登録および入学検定料支払い 完了後に印刷	●
(2)	調査書		厳封	●
(3)	推薦書	別紙 ①	厳封	●
(4)	志望理由書	別紙 ②	自筆(800字以内)	●
(5)	資格検定試験証明書等 貼付用紙	別紙 ④	資格の合格証書等(写し)を貼付	●

●：提出必須

※提出書類を番号順(1)～(5)に揃え、クリップでとめてください(ホチキス等使用不可)。

書類番号(2)、(3)について、まとめて封入の上厳封しても構いません。

※提出書類の郵送方法についてはP.17のSTEP6をご確認ください。

※提出された出願書類に不備があった場合、本学または出願受付センターから連絡します。

出願期間内に「出願登録」「入学検定料の支払い」「出願書類の郵送」の3つの手続きをすべて行うことで、出願完了となります。WEB上での「出願登録」だけでは出願完了とならないので、ご注意ください。

出願登録後、入学検定料をお支払いいただき、出願書類を郵送してください。

出願登録期間	2026年11月1日(日)10時00分～11月5日(木)15時00分
入学検定料のお支払い期間	2026年11月1日(日)～11月5日(木)17時00分
出願書類の郵送期限	2026年11月5日(木)消印有効

5. 試験日・試験場

試験日	2026年 11月 15日 (日)
-----	-------------------

試験場	経済学部、経営学部、社会情報学部*	名古屋校舎
-----	-------------------	-------

*2027年4月開設予定

6. 選考方法

専願制・併願制共通

調査書(全体の学習成績の状況)、資格点、グループ面接、国語学科試験により総合判定して合格者を決定します。

集合時間	9時40分	
選考方法	試験時間	配点
調査書 (全体の学習成績の状況)		50点 ^(注1)
資格点		出願資格に応じ、 加点を行う ^(注2)
グループ面接	10時00分～(15分程度)	可または不可
国語学科試験	12時15分～13時15分(60分)	100点

(注1) 全体の学習成績の状況を10倍した数値を得点とします(50点満点)。

(注2) 応用情報技術者試験・日本商工会議所簿記検定試験1級・全国経理教育協会主催簿記能力
検定試験上級合格者は30点、基本情報技術者試験合格者は15点を加点。

7. 学科試験出題範囲

学科試験は、全問マークシート方式です。

教科	科目
国語	「現代の国語、言語文化、論理国語」(現代文のみ)

8. 合格発表

発表日	2026年 12月 1日 (火) 10時00分～
-----	--------------------------

※発表方法の詳細についてはP. 18をご確認ください。

9. 入学手続

合格者の入学手続は、第一次入学手続と第二次入学手続に分かれています。それぞれの期限内に所定の手続きをしてください。なお、入学手続の詳細は、合格発表日以降、「マイページ」の「入学手続」ページにて「入学案内」を取得しご確認ください。

区分	期限	内容
第一次入学手続	2026年 12月 7日(月)	入学金納入
第二次入学手続	2026年 12月 22日(火)	入学金を除く 授業料等納入
	2026年 12月 22日(火) 15時00分	学籍関連情報・写真登録
	2027年 3月 5日(金)《消印有効》	入学手続書類提出 ^(※)

(※)入学手続書類として、卒業証明書（高等学校発行）等をご準備いただく必要があります。

「情報・簿記会計推薦方式（併願制）」については第二次入学手続の延期や入学金振替ができません。詳細は、「マイページ」にてご確認ください。

※第二次入学手続の延期について

本学や他大学を併願受験し、第一次入学手続をした場合に限り、第二次入学手続を、併願受験大学の合格発表日の翌日〔最終3月23日(火)必着〕まで延期することができます。

なお、追加合格や補欠合格は延期理由の対象外となります。

※入学金振替制度について

情報・簿記会計推薦方式（併願制）に第一次入学手続後、一般選抜にて本学に合格した場合は入学金の振替ができます（再度、入学金を納入する必要はありません）。

※入学前教育について

専願制にて合格した場合、入学前教育にかかる費用負担が発生する可能性があります。

詳細は合格発表日以降、「マイページ」の「入学手続」ページにて「入学案内」を取得しご確認ください。

共通事項

出願期間内に「出願登録」「入学検定料の支払い」「出願書類の郵送」の3つの手続きをすべて行うことで、出願完了となります。WEB上での「出願登録」だけでは出願完了となりませんので、ご注意ください。

STEP 1 出願準備

出願期間の確認

出願登録後、入学検定料をお支払いいただき、出願書類を郵送してください。

出願登録期間	2026年11月1日(日)10時00分～11月5日(木)15時00分
入学検定料のお支払い期間	2026年11月1日(日)～11月5日(木)17時00分
出願書類の郵送期限	2026年11月5日(木)消印有効

出願の準備

出願を行う際、「マイページ」にて顔写真データのアップロードが必要です。
出願前に以下の内容をご確認いただき、顔写真データを準備してください。
試験当日に、アップロードした写真と受験者本人を試験室で照合します。

顔写真データ (JPEGファイル)	画像サイズは写真アップロード画面から調整が可能です。 ●本人のみが写っているもの ●カラー写真であること ●出願前1年以内に撮影したもの ●無帽、上半身正面、無背景（白・青・グレーを基調とした無地の背景） ●私服・制服どちらでも可 ●データ形式はJPEG <注意事項> ●個人が特定しづらいものは使用できません。 ●画像に加工を施しているものは使用できません。 ●眼鏡着用の場合、レンズは無色透明に限ります。 ●壁に近すぎると、影が濃く出て、輪郭が分からなくなる恐れがあります。 ●フラッシュを使用すると顔全体が白くなりすぎ、陰影がなくなる場合があります。 ※アップロードした写真が不適切な場合は、再提出になることがあります。 イメージ図
------------------------------	--

出願書類の準備

出願登録および入学検定料お支払い完了後に印刷可能となる「出願確認票」の他に、調査書、推薦書、志望理由書等が必要です。出願に必要な書類を以下のページで確認後、あらかじめ準備しておいてください。

○一般推薦方式（専願制・併願制） ○短大一般推薦方式（専願制・併願制）	P. 5
○情報・簿記会計推薦方式（専願制・併願制）	P. 11

STEP 2 マイページ登録

※画面はイメージです。実際の画面とは異なる場合があります。

受験生向けサイトの右上にある「WEB出願」から「マイページ」にアクセスし、ご自身の「メールアドレス」と任意の「パスワード」を使用して、マイページへの登録を完了してください。

※マイページに既に登録済の方はログインして出願登録に進んでください。

①受験生向けサイトの「WEB出願」をクリック



愛知大学受験生向けサイト
(<https://adm.aichi-u.ac.jp/>)
へアクセスし、右上の
「WEB出願」を
押し、
マイページへ
アクセスを
してください。



②ガイダンス内容を確認し、最下部の「マイページ」をクリック



まずはガイダンスストップページ
にて、PC・スマートフォンの推
奨環境や出願完了までの手順
を確認します。確認後、最下
部にあるマイページボタンをク
リックしてください。

③マイページの初回登録



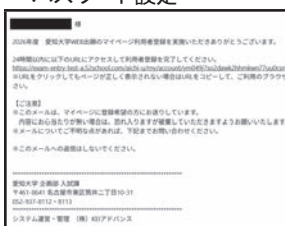
「マイページを初めてご登録の
方」から初回登録ページにアク
セスします。

④メールアドレス登録



利用規約を確認後、自身のメ
ールアドレスを登録します。

⑤届いたメール内URLより パスワード設定



届いたメール内のURLにアク
セスし、任意のパスワードを設
定します。

⑥登録完了 (STEP3 へ)



パスワード設定後、マイペー
ジが表示されたら、登録完了で
す。

STEP 3 個人情報・証明写真登録

マイページより「個人情報の登録・編集と確認」「証明写真の登録・編集と確認」のボタンをクリックし、個人情報と証明写真の登録を行ってください。

STEP 4 出願登録

※画面はイメージです。実際の画面とは異なる場合があります。

マイページの「出願登録」から、必要な情報を入力し、出願登録を行ってください。

①入試制度の選択



出願登録を行う入試を選択し
ます。

②学部・学科等の選択



志望学部・学科等を選択します。

③個人情報の入力



個人情報等を入力します。

④入力内容の確認



登録内容に誤りがないかを確認
し、よろしければ次へ進みます。

⑤アンケートの入力



アンケートを入力します。

⑥アンケートの確認



アンケート内容に誤りがなけれ
ば、次へ進みます。

⑦支払方法の確認



支払方法を確認し、同意欄に
チェックし、次へ進みます。

⑧登録完了 (STEP5・6へ進む)



出願確認票 (確認用) を出力後、
入学検定料の支払いに進みます。

注意事項

- 出願確認票等の再出力、受験票の印刷は、「マイページ」へのログインが必要です。
その際、以前登録した「メールアドレス」と「パスワード」が必要ですのでご注意ください。
- 出願完了後の志望学部・学科・コース・選択科目等の変更・取消は一切認めません。

STEP 5 入学検定料の支払い

入学検定料、お支払い期間は以下の通りです。
 入学検定料お支払い後、入金確認に時間を要する場合があります。
入金確認後に出願確認票が印刷可能となるため、入学検定料はお早めにお支払いください。

○一般推薦方式（専願制・併願制） ○短大一般推薦方式（専願制・併願制）	35,000円 ^(※)
○情報・簿記会計推薦方式（専願制・併願制）	

(※) 短大一般推薦方式（併願制）に出願し、学部との併願出願（2出願）の場合のみ
 入学検定料は45,000円となります。

出願登録後、以下の期間内にお支払いください。

入学検定料のお支払い期間	2026年11月1日(日)～11月5日(木)17時00分
--------------	------------------------------

以下の方法でお支払いが選択できます。

クレジットカード	VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club
コンビニエンスストア	セブンイレブン、デイリーヤマザキ、セイコーマート ▶店頭設置端末は使用しません。レジで「インターネット代金支払」 または「オンライン決済」であることを店員に伝え、請求内容を確認の上、 お支払いください。
	ファミリーマート、ローソン、ミニストップ ▶店頭設置端末の画面指示に従って入力。端末から出力される 「受付票／申込券」を持って30分以内にレジでお支払いください。
銀行ATM（Pay-easy）	銀行ATMによる支払いは、Pay-easy（ペイジー）に対応した銀行のみ可 能です。 ※窓口での支払いはできません。 ※コンビニエンスストアに設置されているATMはご利用できません。
インターネット バンキング	名義は受験生本人でなくても構いません。 出願登録時の「個人情報の入力」画面では、受験生本人の情報を登録 してください。

注意事項

- 入学検定料の他にサービス利用料（1,100円）が必要となります。
- 領収証（原本）は控えとなりますので、大切に保管してください。
- 一旦納入された入学検定料は返還しません。

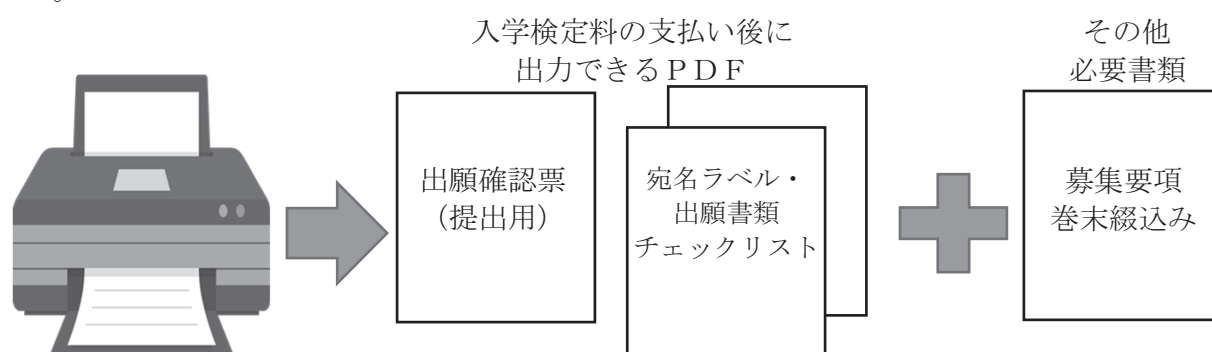
STEP 6 出願書類の郵送

出願に必要な書類一式を、市販の角形2号（240mm×332mm）の封筒を使用して、必ず簡易書留速達で郵送してください。

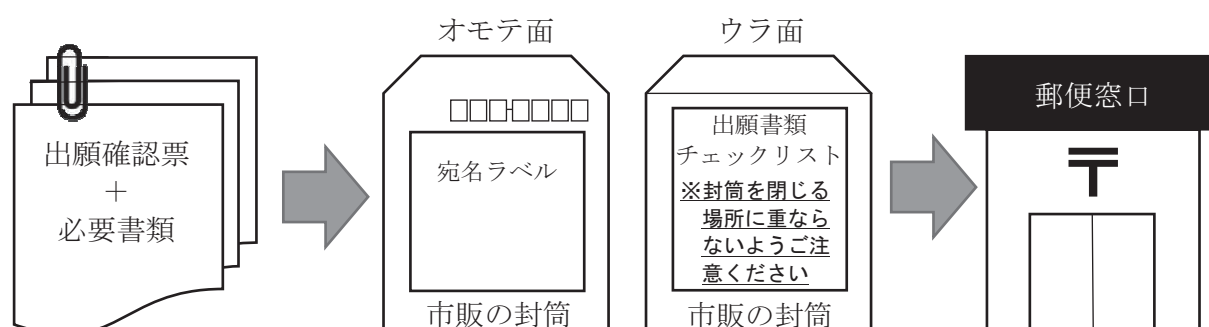
出願に必要な書類を以下のページで確認し、郵送してください。

○一般推薦方式（専願制・併願制） ○短大一般推薦方式（専願制・併願制）	P. 5
○情報・簿記会計推薦方式（専願制・併願制）	P. 11

調査書の手配の他に、入学検定料の支払い後に「マイページ」の「出願確認」ページにある該当入試の「出願の手続き」ボタンを押し、表示されるページ内で出力できるPDFの印刷や募集要項の巻末綴込み書類を印刷し、出願に必要な書類をご準備ください。自宅にプリンタがない場合はUSBメモリやアプリを使用して、コンビニ等で印刷してください。



市販の角形2号の封筒のオモテ面に「宛名ラベル」、ウラ面に「出願書類チェックリスト」を貼付してください。なお、「出願書類チェックリスト」は封筒の閉じる場所に重ならないようにご注意ください。出願確認票をはじめとする必要書類を書類番号順に揃え、クリップでとめて不備のないよう封入してください。封入後、出願書類に漏れがないかを「出願書類チェックリスト」で確認し、郵便窓口で簡易書留速達にて郵送してください。



注意事項

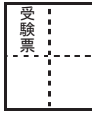
- 出願完了後の入試種別、志望学部・学科・コース等の変更・取消は一切認めません。
- 一旦受理された書類および納入された入学検定料は、返還しません。
- 必ず簡易書留速達にて郵送し、「お問い合わせ番号」を控え、書類の到着に関しては日本郵便が提供する「郵便追跡サービス」を使用し、ご確認ください。
- 提出された出願書類に不備があった場合、本学または出願受付センターから連絡します。

STEP 7 受験票の印刷

受験票発行予定日より出願時に登録した「マイページ」にログインし、「オンライン受験票」から印刷可能です。**別途受験票の郵送はありません**ので、必ずPDFを保存し、印刷の上、試験当日にご持参ください。なお、マイページへのログインには出願時に登録した「メールアドレス」と「パスワード」が必要になりますので、ご注意ください。

受験票の発行予定日は以下の通りです。

受験票発行予定日	2026年11月12日（木）10時00分～
----------	-----------------------

①	「マイページ」にログイン	受験生向けサイトの右上にある「WEB出願」よりマイページにアクセスし、出願登録時に登録した「メールアドレス」と「パスワード」を入力し、ログインしてください。
②	「オンライン受験票」をクリック	マイページメニューにある「オンライン受験票」をクリックしてください。
③	受験票を印刷（A4）	受験票一覧ページに表示されている入試区分・試験日の中で該当入試の「受験票の印刷」ボタンをクリックし受験票PDFをダウンロードします。ダウンロードした受験票PDFは、A4用紙に全て印刷し、4つ折りにして試験当日に持参してください。  ※イメージ図

共通事項

合格発表

発表日	2026年12月1日（火）10時00分～
-----	----------------------

- 合格発表および入学手続は、受験生向けサイトに掲載される合格発表のバナーよりアクセスできる「マイページ」にログインし、「合否結果」「入学手続」よりご確認ください。なお、マイページへのログインには出願時に登録した「メールアドレス」と「パスワード」が必要になりますので、ご注意ください。
- 別途合格通知書及び入学手続書類の郵送はありません**ので、ご注意ください。
- 合否に関する本学へのお問い合わせには一切応じません。

①	「マイページ」にログイン	マイページにアクセスし、出願登録時に登録した「メールアドレス」と「パスワード」を入力し、ログインしてください。
②	「合否結果」をクリック	マイページメニューにある「合否結果」をクリックし、該当入試の合否内容を確認してください。
③	「入学手続」をクリックし、所定の手続きを行う	マイページメニューにある「入学手続」をクリックし、期日までに第一次入学手続・第二次入学手続を完了してください。 ※第一次入学手続・第二次入学手続の期限や内容については、P.13をご確認ください。

利用上の注意

- 本システムでの「誤動作」「見間違い」等を理由とした入学手続の遅れは認められません。
- 合否照会は利用期間外は利用できません。
- サービス開始直後はアクセスが多くつなごうに状態が予想されます。その場合はしばらく時間を置いてからアクセスしてください。
- パソコン等の性能やインターネットへの接続方法などで、表示に時間がかかる場合があります。
- 合否の結果に関し、電話等でのお問い合わせは受け付けません。
- パソコン等のブラウザ設定によっては、画像のずれ、文字化けなどが発生する場合があります。その場合はブラウザを調整してください。

出願に関するQ&A

	Question	Answer
出願登録・入学検定料の支払いに関すること	プリンタは必要ですか？	出願登録後に出力可能となる出願書類（出願確認票・宛名ラベル・出願書類チェックリスト等）および試験時に必要な受験票を印刷するために必要です。自宅にプリンタがない場合、USB メモリやアプリを使用してコンビニ等のマルチコピー機等で印刷してください。
	出願登録できたか不安です。確認できますか？	「マイページ」にログインし、「出願確認」の申し込み一覧に登録をした入試が表示されていれば出願登録は完了となります。なお、本学の入試は「出願登録」「入学検定料の支払い」「出願書類の郵送」の3つの手続きをすべて行うことで、出願完了となります。WEB上での「出願登録」だけでは出願完了となりませんので、ご注意ください。
	個人情報を誤って登録してしまいましたが変更できますか？	【入学検定料支払い前の場合】 「マイページ」へログイン後、「出願確認」の申し込み一覧に表示されている該当入試の「出願取消」ボタンを押してください。取消済に表記が変わったことを確認した後、はじめから出願登録をやり直してください。 【入学検定料支払い後の場合】 印刷した出願確認票の訂正箇所には二重線を赤色で引き、空いているスペースに正しい内容を記入してください。ただし、 入試方式、志望学部・学科・コース・選択科目等の変更・取消はできません のでご注意ください。
	「ご指定のページが見つかりません。」と表示されます。	一定時間操作を行わなかった場合、ブラウザの「戻る」「進む」ボタンをクリックした場合、出願登録画面を2画面以上開いた場合等に表示されることがあります。その際は再度「マイページ」へログインし、出願登録をやり直してください。また、途中でブラウザを閉じてしまった場合も、はじめからやり直してください。
	氏名、住所の入力で正しい漢字に変換または入力できませんが、どうしたらいいでしょうか？	氏名や住所などの個人情報を入力する際に、JISコード第一・第二水準外の文字等で登録エラーになる場合は、代替の漢字（ない場合はカタカナ）を入力してください。 入試に関する内容（出願登録、受験票、合格通知書、入学手続等）は代替の漢字（ない場合はカタカナ）を使用します。入学後に所属校舎教務課へご相談ください。
	「マイページ」に登録した際のパスワードを忘れてしまったが、どうしたらいいですか？	「マイページ」にログインする際に表示される「パスワードをお忘れの方」に表示されている内容を確認いただき、ご自身にて再設定をお願いします。メール受信設定でドメイン設定を行っている場合はメールが届かないことがありますので、ドメイン（@52school.com）を受信指定してください。
	納入した入学検定料を返還してもらうことはできますか？	一旦納入された入学検定料は、返還しません。
その他	受験番号はどのように確認すればいいですか？	ご自身で登録したメールアドレスとパスワードにて「マイページ」へログイン後、受験票発行予定日より「オンライン受験票」にて確認可能です。なお、受験票はA4用紙に印刷し、4つ折りにして試験当日に持参してください。詳細はP.18をご確認ください。
	入試方式、志望学部・学科・コース・選択科目等の変更・取消はできますか？	入学検定料支払い後の、変更・取消は一切できません。出願登録前に必ず内容をご確認ください。

注 意 事 項

(1) 試験当日の持ちもの

受験票	・受験票は試験時間中、座席カード(受験番号表示)の下に置いてください。 ・受験票を忘れた場合は、試験開始前に試験場本部まで申し出てください。 ・受験票の氏名等に間違いがある場合は、試験2日前までに企画部入試課に連絡するか試験当日に試験場本部に申し出てください。
筆記用具	・HBまたはBの黒鉛筆(シャープペンシル可)、消しゴムを持参してください。 ・下敷き、定規、コンパスの使用は認めません。
時計	・試験室には時計がありませんので各自で持参してください。 ・携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の通信機能や辞書機能を持つもの、またそれらの機能の有無が判別しづらいものを時計として使用することはできません。
昼食	・必要に応じて昼食を持参してください。

(2) 試験当日の注意

- ・試験場を間違えると受験できなくなりますので、充分注意してください。
- ・試験開始20分前までに入室し、着席してください。
- ・試験開始後20分を超えて遅刻した場合は受験できません。万一、やむを得ず遅刻する場合は、試験開始前までに受験票記載の連絡先に連絡してください。なお、交通トラブル等により遅刻する場合は各公共交通機関が発行する遅延証明書を必ず取得してください。
- ・試験中の途中退室は認めません。試験中気分が悪くなった場合は監督者に申し出てください。
- ・休憩時間等、試験室の外に出る際には、必ず受験票を携帯してください。
- ・携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切ってかばんにしまってください。試験開始後に操作した場合は不正行為とみなします。
- ・他の受験者の迷惑となる行為や監督者等の指示に従わない場合は、不正行為となることがあります。
- ・机の上に置けるものは、受験票の他に黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計、メガネ、ハンカチ、袋から出したティッシュペーパー、目薬です。また、ひざ掛けや上着等は、試験実施に影響の無いもの(過度な英文字や地図等のプリントが無いもの)であれば使用できます。
- ・各試験場とも前日の問い合わせ等の受付窓口は開設しません。また、試験場建物内の下見はできません。
- ・大雪、地震、津波、台風、洪水等の自然災害または火災、停電、その他不可抗力による事故等が発生した場合、試験開始時刻の繰り下げ(試験開始時刻を繰り下げた場合、最終終了時刻も変更になること、また試験時間を確保するために休憩時間を調整することがあります)、試験の延期等の措置をとることがあります。ただし、それによって生じた受験者負担の費用、その他個人的損害について、本学はその責任を一切負いません。
- ・試験時間中に日常的な生活騒音等(監督者の巡視による足音・監督業務上必要な打合せなど、航空機・鉄道・自動車・風雨・空調の音など、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、周囲の建物のチャイム音など)が発生した場合でも救済措置はありません。
- ・「学校保健安全法」で出席の停止が定められている感染症(新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等)に罹患し、試験日までに医師が治癒したと診断していない者は受験できません。該当する場合は、試験当日の午前10時までに受験票記載の連絡先へお申し出ください(罹患の場合、後日、感染を証明する診断書等の提出が必要となります)。なお、追試験は実施しません。
- ・発熱や咳等の症状がある受験者はあらかじめ医療機関での受診を行ってください。また、試験場で発熱や咳等の症状がある受験者には、試験監督等から座席の移動や試験室の変更をお願いする場合があります。

(3) その他の注意

- ・専願制の入試種別で入学を許可された者が入学を辞退した場合は、翌年度よりその学校からの当該入試種別の出願を受理しないことがあります。
- ・いったん受理された書類および納入された入学検定料は、原則返還しません。
- ・出願後の志願学部・学科・コース等の変更は一切認めません。
- ・入試結果(可否結果から入学状況まで)を出身学校へ通知します。
- ・障がい等により、受験・修学に際して特別な配慮を必要とする場合は、9月28日(月)までに必ず企画部入試課へお問い合わせください。申請手続きを説明し、必要書類をお送りします。本学の入学試験における特別措置は、原則として大学入学共通テストでの措置内容に準じ、可能な限り対応します。また、出願後の不慮の事故等により、受験時に特別な配慮を必要とする場合も速やかにお問い合わせください。

奨学金制度

●教育ローン援助奨学金

日本政策金融公庫等が取り扱う教育ローンを利用して、学納金等(入学金を含む)を期限内に納付した場合、奨学金を給付する制度です。教育ローン契約者は、父母またはそれに代わる人のいずれかに限ります。教育ローンの利子のうち、在学中(最短修業年限内)は利子の一部(上限5%)を奨学金として給付します。また、教育ローン利用契約時に別途保証料を支払った場合については、その保証料を採用初年度に限り、10万円を限度に給付するものです。申請時期は5月または10月です。

●日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構は、国および社会にとって有用な人材を育成することを目的とし、成績が平均水準以上で経済的な理由により奨学金を必要とする学生に対して学資を貸与します。申込説明会は4月、決定時期は6月を予定しています。

(参考：2026年度実績)

貸与種別		第一種奨学金(無利息)		第二種奨学金(有利息)
貸与月額		自宅通学		短大・学部とも 20,000円から120,000円までの中 から1万円単位で選択
		学部	学部	
		短大	短大	
主な 成績基準	1年次	高等学校又は専修学校高等課程の成績が3.5以上の者		出身学校における学業成績が平均水準以上の者
	2年次以上	大学における学業成績が本人の属する学部(科)の上位1/3以内の者		大学における学業成績が平均水準以上の者
貸与始期		4月		4月
返還方法等		卒業後に無利息で返還する		卒業後に年利率3%を上限とした利息を上乗せして返還する(在学中は無利息)

●高等教育の修学支援新制度

本学は、国による「高等教育の修学支援新制度」対象機関として認定されています。学業成績や家計に係る基準を満たす対象者は、本学在学にあたり支援を受けることができます。申込説明会は、入学後毎年春および秋を予定しています。

制度の詳細は、文部科学省のHP (<https://www.mext.go.jp/kyufu/>) にてご確認ください。

なお、本学では高校在学時に予約採用された方も入学手続期限までに入学金および学納金等を納入いただき、入学後、区分に応じた減免額を返金します。

●学業奨励金(給付)

2年次以上を対象に、前年度に修得した科目の単位数および成績に基づき審査を行い、学業成績が特に優れた学生に対して給付します。採用人数は131名。

金額	申請・給付時期
授業料半額相当額	給付時期：春学期分6月、秋学期分11月を予定 (春秋ともに申請不要) ^(注)

(注) 採用決定は大学が行います。なお、奨学金を受給するには手続書類の提出が必要です。

●応急奨学金(給付)

主たる家計支持者の死亡・失職・災害等によって家計が急変し、学業の継続が困難になった学生を対象とします。なお、出願事由は入学後を対象とします。

金額	申請・給付時期
申請した学期の学費(授業料および教育充実費)相当額	出願事由発生後6か月以内

●学納金(2027年度入学生)

(単位:円)

種別			学部		法 学 部 経 済 学 部 経 営 学 部	現代中国学部 国際コミュニケーション学部	社会情報学部*	文 学 部	地域政策学部	短期大学部
入学手続時 納入額	入学金	第一次入学手続	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	
	授業料	第二次入学手続	385,000	415,000	425,000	395,000	385,000	380,000		
	教育充実費		145,000	145,000	145,000	125,000	125,000	125,000		
		第一次入学手続計	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000		
		第二次入学手続計	530,000	560,000	570,000	520,000	510,000	505,000		
秋学期計 (納入期限：2027年9月15日)	授業料		385,000	415,000	425,000	395,000	385,000	380,000		
	教育充実費		145,000	145,000	145,000	125,000	125,000	125,000		
			530,000	560,000	570,000	520,000	510,000	505,000		

*2027年4月開設予定

※授業料は2年次以降10,000円ずつ増額となります。

※学納金等は変更となる場合があります。必ず「入学案内」をご確認ください。

※入学金は初年度(入学年度)のみ徴収します。2年次以降は授業料と教育充実費を徴収します。また、本学の事情によって入学後の学納金等を改定する場合があります。

注意事項

- ①本学では、入学前に寄付金・学校債等の募集は行っておりません。入学後に教学組織および教育環境の整備・充実、学生支援活動の充実・強化、社会貢献活動の推進等を使途とした募金(寄付金)を学生の保証人の方をお願いしておりますが、応募は任意です。
- ②学納金のうち、授業料および教育充実費については学期毎に納入することになります。
- ③いったん納入された学納金は返還しません。ただし、所定の期日までに入学辞退の手続きをした場合、入学金を除く入学手続時納入金を返還します。
- ④次の学部・学科・専攻・コースは実習費の納入が必要です。

(単位:円)

学部・学科・専攻・コース		種別	金額	納入時期
現代中国学部		実習費	430,000	2年次
文学部	人文社会学科 東アジア文化専攻 哲学専攻 図書館情報学専攻 メディア芸術専攻	表現実習費	13,000	2年次
	メディア芸術専攻	実験実習費	80,000	2年次以降毎年
	社会学専攻	調査実習費	20,000	3年次
	歴史地理学科 地理学専攻	調査実習費	10,000	2年次
	心理学科	実験実習費	60,000	2年次以降毎年
	地域政策学部 食農環境コース	実験実習費	50,000	2年次

※現代中国学部の実習(現地プログラム)は、中国語を母語とする外国人留学生を除く実習のため、中国語を母語とする外国人留学生は実習費の納入が不要です。

※為替相場の変動等により、追加徴収をお願いする場合があります。

●委託徴収金(2027年度入学生)

委託徴収金は本学が関係諸団体から依頼を受け徴収するものです。

(単位:円)

種別		学部	短期大学部
後援会・同窓会費		法 学 部 経 済 学 部 経 営 学 部 現 代 中 国 学 部 国際コミュニケーション学部 社 会 情 報 学 部* 文 学 部 地 域 政 策 学 部	20,000
入学手続時1回のみ		40,000	20,000

*2027年4月開設予定

※金額は変更となる場合があります。必ず「入学案内」をご確認ください。

公募制推薦入試
短大公募制推薦入試

受験番号	※
------	---

推 薦 書

2026 年 月 日

愛知大学学長 殿

愛知大学短期大学部学長 殿

所在地

学校名

校長名



貴大学公募制推薦入試募集要項記載事項にもとづき、下記の生徒を適格と認め推薦いたします。

記

生徒氏名 _____

- 〔注〕 1. ※欄は記入しないでください。
2. 厳封して本人（志願者）に交付してください。

記 入 日	2026年 月 日
学 校 名	都道 府県 学校
フリガナ	
氏 名	男・女

受験番号	※	
いずれかを ○で囲むこと	I	一般推薦方式
	II	情報・簿記会計推薦方式
志願先	学部 学科 コース ↑	

文学部は学科・コース記入不要
地域政策学部はコースまで記入

2027年度 愛知大学志望理由書

(800字詰：横書き)

[illegible]

〔志望理由書作成上の注意〕

- ※欄は記入しないでください。
- 黒インクまたは黒ボールペンを使用して、自筆で記入してください。
- 「本学(志願先学部)志望の理由」「将来の抱負」等を中心に、800字以内で簡潔にまとめてください。

記 入 日	2026年 月 日
学 校 名	都道 府県 学校
フリガナ	
氏 名	

受験番号	※
------	---

2027年度 愛知大学短期大学部志望理由書

(400字詰：横書き)

[illegible]

〔志望理由書作成上の注意〕

- ※欄は記入しないでください。
- 黒インクまたは黒ボールペンを使用して、自筆で記入してください。
- 「これまでに力を入れて取り組んだこと、入学後の抱負」について、400字以内で簡潔にまとめてください。

資格検定試験証明書等貼付用紙

別紙④

受験番号	※
------	---

※欄は記入しないでください。

フリガナ		資料枚数	
氏 名		/	/の右側に提出する資料貼付用紙の総数、 左側に何枚目か記入してください。

貼 付 欄

各入試種別に該当する証明書等(いずれもコピー可)をこの枠内に貼付してください。
※本人の実績を客観的に証明するものであること。

〔注 意〕

1. **用紙1枚につき、証明書等を1枚貼付してください。**
資料が複数ある場合は、本紙をコピーして使用してください。
2. **大きいものはこの用紙の枠からはみ出さないように縮小してから貼付してください。**
また、資料は重ねて貼付したり、貼付後に折り曲げたりしないようにしてください。
3. 各貼付物の個人名が記載された箇所にピンク色のマーカーで印をつけてください。

<各入試種別提出一覧>

	一般推薦方式(専願制)・ 短大一般推薦方式(専願制)	一般推薦方式(併願制)・ 短大一般推薦方式(併願制)	情報・簿記会計推薦方式 (専願制・併願制)
内容	全学部 (短期大学部を含む)	全学部 (短期大学部を含む)	経済学部、経営学部、 社会情報学部(2027年4月開設予定)
資格の合格証書等(写し)を貼付	×	★	●

●:提出必須

★:該当の英語能力試験スコアを保持している方のみ提出。詳細はP.4「4. 英語能力試験スコア等の活用」をご確認ください。

×:提出不要

【交通アクセス】

名古屋校舎

(法学部・経済学部・経営学部・現代中国学部・国際コミュニケーション学部・社会情報学部*)

*2027年4月開設予定

名古屋市中村区平池町四丁目60-6 TEL 052-564-6111(代表)

<アクセス>

〔鉄道〕 「名古屋」駅より徒歩約10分

あおなみ線「ささしまライブ」駅下車(名古屋駅より乗車時間1分)

※大学まで歩行者デッキで直結

豊橋校舎

(文学部・地域政策学部・短期大学部)

愛知県豊橋市町畑町1-1 TEL 0532-47-4111(代表)

<アクセス>

〔鉄道〕 豊橋鉄道渥美線「愛知大学前」駅隣接(新豊橋駅より乗車時間6分)

入学試験当日は、天候や事故などにより、予期せぬ公共交通機関の遅延などが発生する可能性があります。そのため、試験場までの複数の移動手段、代替ルートを事前に想定することをおすすめします。また、早めに試験場に到着するように心がけてください。

試験当日、以下のURLにて緊急時の本学の対応措置についての情報が確認できます。

受験生向けサイト(パソコン・スマートフォン) <https://adm.aichi-u.ac.jp/>



【個人情報の取扱いについて】

出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報は、

- (1) 入学試験の実施(出願処理・試験の実施等)
- (2) 入学手続、各種案内
- (3) 入学者選抜方法改善及び広報改善のための調査・アンケート

とこれらに付随する事項を行うために利用します。上記以外の目的で、本学が志願者本人に通知することなく個人情報を利用することはありません。

なお、本学は上記利用目的のため、その業務の一部を本学が定める個人情報取扱の基準を満たす業者(以下、「委託業者」という)において行います。業務を委託するに当たり、委託業者に対して委託業務を遂行するために必要となる限度で、お知らせいただいた個人情報の全部又は一部を提供します。提供に際しては、委託業者に対しても、契約により適切な管理を義務付けています。予めご了承ください。

感染症や災害等の影響によって、予定している試験が実施困難と判断される場合、内容を一部変更し、実施する可能性があります。なお、変更内容は決定次第、速やかに受験生向けサイトにてお知らせします。

企画部入試課

〒461-8641 名古屋市中村区筒井二丁目10-31

TEL(052)937-8112・8113(直通)(平日9時~17時)

※受験及び修学上、特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち必ず企画部入試課までお問い合わせください。